

2026 年 1 月 13 日

報道関係 各位

太陽石油株式会社

## 廃プラスチック由来の熱分解油の受入れ開始 — サークュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを推進 —

太陽石油株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山本 堯大、以下「太陽石油」）は、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みの一環として、四国事業所（愛媛県今治市）に廃プラスチック由来の熱分解油等（以下「分解油」）を受け入れる専用設備を新設し、2025 年 12 月に株式会社 CFP（本社：広島県福山市、代表取締役社長：福田 奈美絵）から調達した ISCC PLUS 認証付き廃プラスチック分解油の初回受入れを行い、製油所設備での処理を開始いたしました。今後、太陽石油が本社および四国事業所にて取得した ISCC PLUS 認証<sup>※1</sup>に基づく、マスバランス方式<sup>※2</sup>を適用したケミカルリサイクル製品の販売を開始していく予定です。



CFP 岡山ケミカルリサイクル工場 油化装置

(©株式会社 CFP)



分解油搬入の様子

<太陽石油が取得している ISCC PLUS 認証>

拠点	製品	認証スコープ	取得時期
四国事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロピレン</li> <li>・ ブタン</li> <li>・ ナフサ</li> <li>・ ガソリン</li> <li>・ 灯油</li> <li>・ 軽油</li> <li>・ C 重油／残渣油</li> <li>・ ベンゼン</li> <li>・ トルエン</li> <li>・ ミックスキシレン</li> <li>・ ヘビーアロマ</li> </ul>	Processing Unit（加工工場）、 Warehouse（倉庫）	2025/6/30
本社	任意の製品全般	Trader with storage （貯蔵を伴うトレーダー）	2025/7/1

循環型社会への移行に向けて、廃プラスチックを化学原料として循環させるケミカルリサイクルは重要性を増しています。太陽石油は、製油所設備が持つ高度な不純物除去能力を活用したケミカルリサイクル実現に向けた取り組みを進める事で、廃プラスチックを再び化学原料として活用する道筋を広げ、資源循環の促進に取り組んでまいります。

※ 1 ISCC PLUS 認証：ISCC 協会（International Sustainability and Carbon Certification）による持続可能性および炭素に関する国際認証。バイオベース原料やリサイクル由来原料等について、サプライチェーン全体の管理とトレーサビリティを第三者が認証する制度。

※ 2 マスバランス方式：複数原料（例：バイオマス原料と化石由来原料）を用いて製造する際、投入した対象原料の量に応じて、その環境特性を製品に割り当てる管理手法。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

太陽石油(株) 渉外部

担当：渡辺

電話：089-909-3716

メール：koho@mail.taiyooil.co.jp